

平成30年度 いじめをなくす取組推進事業

【報告】 高校生意見交流会

発行：三重県教育委員会事務局生徒指導課

平成30年8月21日(火)、平成30年度いじめをなくす取組推進事業「高校生意見交流会」を開催しました。県内39校69人の高校生が集まり、いじめのない学校づくりのために自分たちができること等について話し合い、弁護士からの助言もいただきながら、「私たちの行動宣言」を取りまとめました。

当日の様子

グループ討議(午前)

各学校で取り組んでいる活動のうち、回答が多かった「いじめの防止」「挨拶運動」「SNSの正しい利用」を踏まえ、グループ討議を行いました。高校での仮想事例に基づき、いじめの問題を解決していくためにはどのような方法やルールづくりが必要になるか、グループで話し合いを行いました。



弁護士講義

いじめは人権侵害であって許されないものであることや、いじめの四層構造についての説明、互いに認め合いながらより良く生きるためのルールづくりの必要性、皆がルールを遵守するためのより良い合意形成のプロセスなど、午前中のグループ討議を踏まえて講義を行っていただきました。



グループ討議(午後)

弁護士講義を踏まえ、各グループに弁護士がファシリテーターとして入り、午前中の仮想事例について話し合いを深めました。話し合いが深まったところで、各学校での課題やその背景について考え、いじめのない学校づくりのため、共通の目標となる「私たちの行動宣言」をグループごとにとりまとめました。



発表「私たちの行動宣言」

とりまとめた「私たちの行動宣言」について、話し合いの様子やその考え方、「行動宣言」に託した思いなどを各グループが発表し、参加した高校生全員で共有しました。その後、各グループが考えた「私たちの行動宣言」のうち、自分が良いと思ったものに、1人ひとりがシールを貼りました。



「私たちの行動宣言」

高校生意見交流会では、いじめ問題等、現実の学校で問題になっていることについて各グループで討議し、各グループが問題解決のための行動宣言として「私たちの行動宣言」をまとめました。以下が主な「私たちの行動宣言」です。

あいさつ つながり りかい いい社会

【行動宣言の趣旨】

挨拶を通じて人がつながることで、互いの理解を深め合い、いじめのない社会を実現しよう

【参加生徒からの言葉】

- ・身近な挨拶からこれからの社会のことまで考えている
- ・覚えやすく、いろいろな意味が込められている
- ・「あいさつ」が本当に人との関わりの始まりだと共感した

その他、主な「私たちの行動宣言」

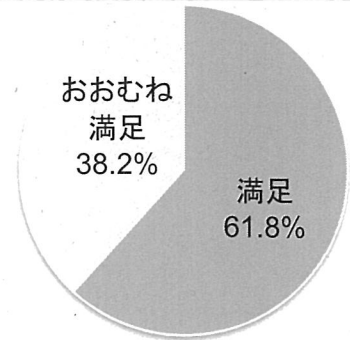
「言いづらいの壁を壊せ」・「一日多笑」・「お互いの個性を認め合う」

「高校生意見交流会」に参加して

参加した高校生に、高校生意見交流会の満足度をたずねたところ、68人から回答があり、42人が「満足」(61.8%)、26人が「おおむね満足」(38.2%)という結果になりました。

参加した高校生の主な感想

- ・他校の生徒と話し合うことで、新しい物の見方を見つけることができてよかった。
- ・弁護士の先生と一緒に話し合うことができたのは、貴重な体験だった。
- ・この1日で自分の考え方が大きく変わった。これからの学校生活や社会に出た時、すごく役に立つと感じた。



今後のいじめ防止対策について

三重県が行う、今後のいじめ防止対策の具体的なアイデアについて、高校生意見交流会の中で、参加の高校生から意見をいただきました。

参加した高校生の主な意見

- ・他校の生徒や同年代の人と話し合う機会がもっとあると良い。
- ・わかりやすい宣言やスローガンが必要。
- ・大人の人と意見交流し、大人がどのように考えているのか知ることができると良い。